

第68期 事業報告書

平成17年4月1日～平成18年3月31日



～走りだす夢の先に～ **TOEI ANIMATION**

東映アニメーション株式会社

## 株主の皆様へ

# 創立50周年～走りだす夢の先に～

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げますとともに、平素のご支援に心から厚く御礼申し上げます。

当社は今年、平成18年7月31日に、創立50周年を迎えます。これも一重に株主の皆様のご支援の賜物であると深く御礼申し上げます。50周年を迎えるにあたり策定したキヤッチフレーズ「走りだす夢の先に」は、新たな50年の幕開けとして、輝ける未来(=夢)に向かって走りだしていく、私たちの思いと決意が込められています。

今、当社を取り巻く事業環境は、少子化やアニメ番組視聴率の全体的な低迷等の厳しい状況が続いている一方で、ヤング層の市場が拡大していることや、VOD(ビデオ・オン・デマンド)やモバイルといった新しいメディアが急速に伸びていることに加え、海外での日本のアニメーションに対する評価が依然として高いこと等から市場全体の拡大が期待でき、競争が激しくなってきています。

このような事業環境の中、新たな50年への第一歩となる平成18年3月期、当社は過去最高の連結売上高と連結当期純利益を達成することができました。

東映アニメーションの経営理念は「世界の子どもたちと人々に夢と希望を贈る」です。アニメーションを通して、子どもたちは夢を育み、豊かな想像力を身に付けます。良質な映像作品は人々の心を癒し、明日への希望を与えます。その夢と希望をさらに大きく、そして多く贈れるよう、より一層良質な作品作りを目指していきます。

未来に向かって、力強く走りだす新しい東映アニメーションにどうぞご期待ください。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年6月



代表取締役社長  
TAKAHASHI HIROSHI  
高橋 浩  
代表取締役会長  
TOMARI TSUTOMU  
泊 懇



50周年記念ロゴマーク



第68期 事業報告書

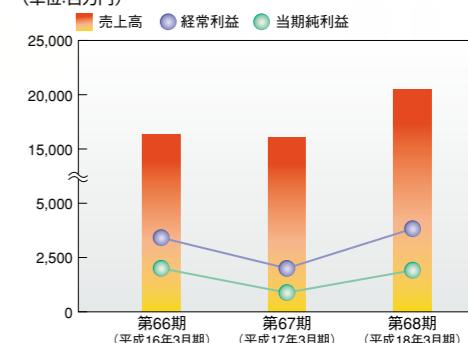
## 当期の概況

当期、当社は国内で「ふたりはプリキュア」、「ワンピース」、「金色のガッシュベル!!」、「ドラゴンボール」、海外で「ドラゴンボール」、「ワンピース」、「聖闘士星矢」、「金色のガッシュベル!!」を主としたテレビ・映画・DVD・インターネット等への映像製作・販売事業や、キャラクター商品等の版権事業、商品販売・キャラクターショー等の関連事業を戦略的に事業展開しました。

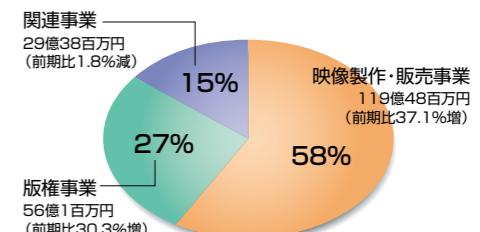
この結果、当期の売上高は204億87百万円(前期比28.0%増)、経常利益は35億42百万円(前期比68.2%増)、当期純利益は20億31百万円(前期比67.4%増)となりました。

業績の推移	第66期 (平成16年3月期)	第67期 (平成17年3月期)	第68期 (平成18年3月期)
売上高(百万円)	16,337	16,010	20,487
経常利益(百万円)	3,217	2,105	3,542
当期純利益(百万円)	2,105	1,213	2,031
1株当たり当期純利益(円)	295.08	167.63	284.54
1株当たり利益配当金(円)	30	30	80
資本金(百万円)	2,867	2,867	2,867
総資産(百万円)	23,402	25,484	29,786
純資産(百万円)	19,224	20,717	23,242
1株当たり純資産(円)	2,740.69	2,953.96	3,314.69

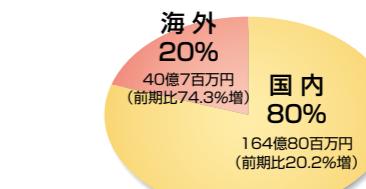
売上高・経常利益・当期純利益の推移  
(単位:百万円)



第68期事業セグメント別売上構成比



第68期国内・海外別売上構成比



第68期 事業報告書

## 当期の概況

### 映像製作・販売事業

#### アニメーションを製作し、国内外のTV・劇場・ビデオ・DVD等で放送・公開・販売

劇場アニメ部門では、3月に「ワンピース オマツリ男爵と秘密の島」、4月に「ふたりはプリキュアMaxHeart」、8月に「金色のガッシュベル!! メカバルカンの来襲」、12月に「ふたりはプリキュアMaxHeart2 雪空のともだち」、1月に初の実写映画「最終兵器彼女」の5作品を劇場公開し、前期の3作品に比べ劇場公開作品数が増加したことに加え、当社が幹事会社として公開した「ふたりはプリキュア」の興行成績が好調だったため、大幅な増収となりました。

テレビアニメ部門では、新作テレビシリーズとして「ワンピース」、「金色のガッシュベル!!」、「ふたりはプリキュアMaxHeart」(2月から「ふたりはプリキュアSplash☆Star」)や「怪~ayakashi~」等を放送し、前期の「デジタルモンスター ゼヴァオリューション」のような大型のテレビスペシャル作品がなかったものの、新作テレビシリーズの放送本数が前期よりも増加したため、増収となりました。

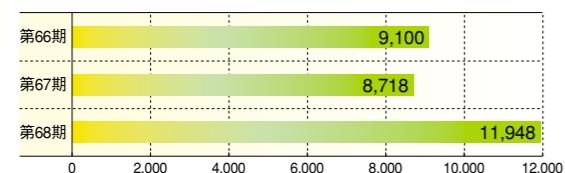
なりました。

パッケージソフト部門では、新作で「ワンピース」や「ふたりはプリキュアMaxHeart」、「AIR」、ライブラリー作品で「ドラゴンボールGT」や「スラムダンク」等を展開し、中でも「ドラゴンボールGT」のDVD-BOXや「ドラゴンボールZ」の単巻DVDが好調に推移したため、大幅な増収となりました。

海外部門では、北米での放送ラインアップが6枠に増加したことや、欧州・アジア地域で「ふたりはプリキュア」の海外展開がスタートする等、新作の投入が順調に進んだことに加え、欧州で「ドラゴンボール」と「聖闘士星矢」の大口の取引があったため、大幅な増収となりました。

以上により、当事業の売上高は119億48百万円(前期比37.1%増)となりました。

売上高推移 (単位:百万円)



「怪~ayakashi~JAPANESE CLASSIC HORROR」  
H18.1.12~H18.3.23 フジテレビ系列



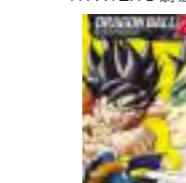
「ワンピース THE MOVIE  
オマツリ男爵と秘密の島」DVD  
H17.7.21発売



「映画 ふたりはプリキュア  
MaxHeart2 雪空のともだち」  
H17.12.10 劇場公開



「ふたりはプリキュアSplash☆Star」  
日 8:30~ ABC・テレビ朝日系列



「ドラゴンボールZ」単巻DVD  
全49巻 H17.11.2~毎月3巻発売



「PRETTY CURE」  
イタリア・ドイツ・台湾等



第68期 事業報告書

## 当期の概況

### 版権事業

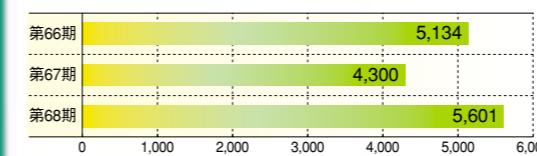
#### キャラクターの使用許諾を、 国内外のライセンサー(メーカー等)に与え、 キャラクター商品(玩具・衣類・文具・食品等)を展開

国内では、「ワンピース」と「金色のガッシュベル!!」が減少したものの、「ふたりはプリキュアMaxHeart」が主力商品であるハートフルコミュニケーションを中心に各商品が大ヒットし、また「ドラゴンボール」がテレビゲームやデータカードダスが大ヒットしたため、増収となりました。

海外では、「ドラゴンボール」のテレビゲームが北米での大口の取引に加えて欧州でも好調に稼動し、また「聖闘士星矢」、「金色のガッシュベル!!」、「ワンピース」、「ふたりはプリキュア」が世界各地で展開したため、大幅な増収となりました。

以上により、当事業の売上高は56億1百万円(前期比30.3%増)となりました。

売上高推移 (単位:百万円)



「ふたりはプリキュアMaxHeart」  
ミラクルコミュニケーション



「ドラゴンボールZ」  
PS2用ソフト  
「DRAGONBALL Z Sparking!」

### 関連事業

#### キャラクター商品の販売、キャラクターショー等の イベントの企画・運営、クリエイター養成機関 「東映アニメーション研究所」の運営

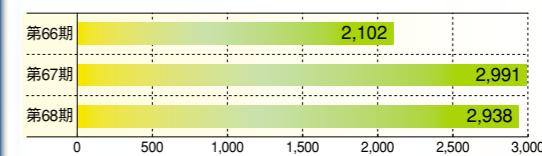
商品販売部門では、「ふたりはプリキュアMaxHeart」が引き続き好調に稼動ましたが、前期に比べタイアップ等の大口の取引が少なかったため、若干の増収にとどまりました。

イベント部門では、「ふたりはプリキュア」関連の催事・キャラクターショー等が好調であったものの、前期にありましたアトラクション映像製作の大口の取引が当期は無かったため、若干の減収となりました。

教育部門では、「東映アニメーション研究所」が平成18年4月にリニューアルするにあたって、平成17年度においては一部の学科を除いて生徒を募集しなかったため、生徒数が減り、大幅な減収となりました。

以上により、当事業の売上高は29億38百万円(前期比1.8%減)となりました。

売上高推移 (単位:百万円)



「映画 ふたりはプリキュア  
MaxHeart2」  
前売券購入特典



「ふたりはプリキュアSplash☆Star」  
イベント「ドリームワールド」  
会場: 和歌山マリーナシティ



第68期 事業報告書

特



集

# みなさまに愛されて50周年 これからも愛される作品を世界中へ

## 新たな飛躍への幕開け

平成18年7月31日に創立50周年を迎える当社の武器は、半世紀にわたり培った企画・製作力、営業力、そして、膨大な作品群です（テレビ160作品、映画180作品、総数約9,100本 平成18年3月時点）。

新たな50年の幕開けとなる今年、「走りだす夢の先に」のキャッチフレーズのもと、この武器をさらに磨くとともに、50周年記念事業として新たな事業に挑戦し、さらなる飛躍を図っていきます。



1956年7月創立

2000年12月  
株式上場

2006年50周年

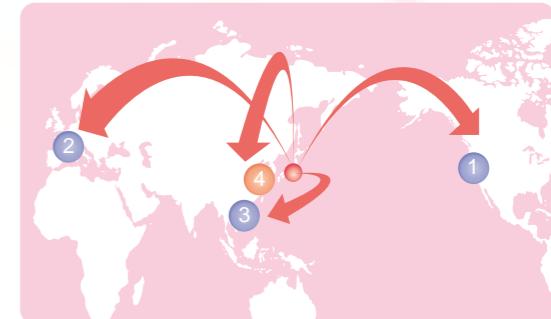
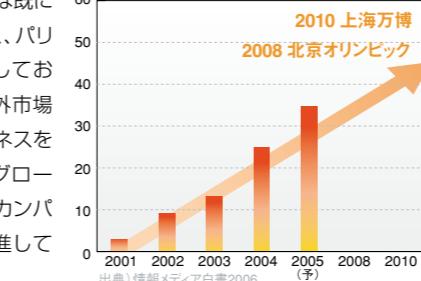
## さらなる海外展開の強化

### 中国・上海市に駐在員事務所を開設

近い将来、飛躍的な伸びが期待できる中国市場において、平成18年6月に「ドラゴンボール」の放送が開始となる等、中国の放送局やメーカー等からの引き合いが活発化してきています。そこで当社は平成18年6月、中国・上海市に情報収集拠点として駐在員事務所を開設し、本格的な中国進出の第1歩を踏み出します。当社では既に香港、ロサンゼルス、パリに現地法人を設立しておりますが、今後も海外市場において、直接ビジネスを推進・強化し、真のグローバルアニメーションカンパニーを目指して邁進していきます。

中国デジタルコンテンツ産業の市場規模

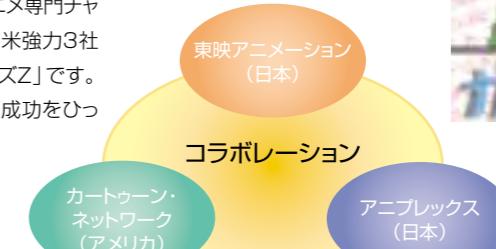
(単位:億元)



- ① TOEI ANIMATION INCORPORATED  
(北中南米地域の営業拠点: アメリカ・ロサンゼルス)
- ② TOEI ANIMATION EUROPE S.A.S.  
(欧州・中近東地域の営業拠点: フランス・パリ)
- ③ TOEI ANIMATION ENTERPRISES LIMITED  
(東南アジア地域の営業拠点: 香港)
- ④ TOEI ANIMATION (Shanghai) Representative  
(中国の情報収集拠点: 上海)

## 全世界を視野に入れた海外との合作を強化

海外事業をさらに拡大するために、これまでの日本向けに製作した作品の輸出に加え、世界展開を視野に入れた、海外企業とのコラボレーションによる作品作りに本格的に取り組んでいきます。その第一弾は、日本最大手のアニメーション製作会社である当社と、様々な話題作、人気作品を次々と手がけるアニプレックス、アメリカの大手アニメ専門チャンネルのカートゥーン・ネットワークによる国境を越えた日米強力3社の初の共同プロジェクトによる「出ましたっ!パワパフガールズZ」です。まず平成18年7月1日から日本で放送を開始し、日本での成功をひっさげて、全世界に展開していきます。





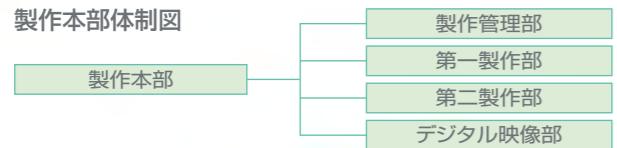
## ヤング市場向けのラインナップ強化

### ヤング市場向け作品の充実

約200億円ともいわれるアニメーションのマニア市場(\*)に、一般層を含めたヤング市場は、非常に巨大な商圏となっています。このような市場環境を受けて、平成17年3月、市場の多様化に柔軟に対応するために「製作本部制」を導入しました。今後は、「第二製作部」を中心にヤング層向けの製作力の強化を図るとともに、ラインナップを充実させ、ヤング市場においても東映アニメーションのブランドを確固たるものにします。

(\*)株式会社野村総合研究所 2005年10月6日 レポート

#### 製作本部体制図



平成12年

● テレビ・深夜 1作品

平成16年

● テレビ・深夜 1作品 ● 映画 1作品 ● ビデオ 2作品

平成18年

● テレビ・深夜 4作品

● 衛星放送 1作品

怪 ~ayakashi~ JAPANESE CLASSIC HORROR

エア・ギア

神様家族

CLANNAD

- クラナド -

CLANNAD

その他、企画進行中

CLANNAD

</div

## 連結財務諸表

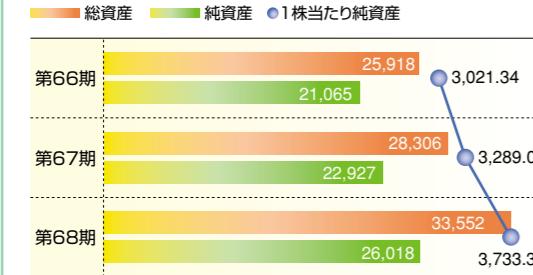
## 連結財務諸表

### Point 総資産・純資産・1株当たり純資産

当期における「総資産」は、335億52百万円(前期比52億45百万円増)となりました。また、「純資産」は当期純利益(24億28百万円)等の増加により260億18百万円(同30億91百万円増)となりました。これに伴い、「1株当たり純資産」は3,733円38銭(同444円35銭増)となりました。

#### 総資産・純資産・1株当たり純資産 (単位:百万円)

※1株当たり純資産のみ、単位:円



### Point 資産の部

今後も事業を発展・拡大するにあたり必要な、土地・建物の購入や社内情報セキュリティ強化に伴う工事費、関係先とのより強固な関係を築くために取得した有価証券、保有有価証券の時価の上昇、長期性預金への投資等固定資産の増加により、335億52百万円(前期比52億45百万円増)となりました。

### 貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科 目	当期 平成18年3月31日現在	前 期 平成17年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	17,514	17,567
固定資産	16,038	10,739
<b>資産合計</b>	<b>33,552</b>	<b>28,306</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	5,480	3,862
固定負債	1,740	1,262
<b>負債合計</b>	<b>7,221</b>	<b>5,125</b>
<b>少数株主持分</b>		
少数株主持分	312	253
<b>資本の部</b>		
資本金	2,867	2,867
資本剰余金	3,409	3,409
利益剰余金	17,569	15,400
その他有価証券評価差額金	2,191	1,363
為替換算調整勘定	△ 15	△ 110
自己株式	△ 3	△ 3
<b>資本合計</b>	<b>26,018</b>	<b>22,927</b>
負債、少数株主持分及び資本合計	33,552	28,306

### Point 負債の部

売上高の増加に伴う支払債務の増加や、増益に伴う税金負担の増加により72億21百万円(前期比20億95百万円増)となりました。

### 損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科 目	当期 平成17年4月1日～ 平成18年3月31日	前 期 平成16年4月1日～ 平成17年3月31日
売上高	21,561	16,646
売上原価	14,598	11,797
売上総利益	6,962	4,849
販売費及び一般管理費	3,104	2,607
営業利益	3,858	2,242
営業外収益	302	362
営業外費用	3	3
経常利益	4,157	2,601
特別損失	142	54
税金等調整前当期純利益	4,015	2,546
法人税、住民税及び事業税	1,557	946
少数株主利益	29	47
<b>当期純利益</b>	<b>2,428</b>	<b>1,553</b>

### Point 売上高

「ふたりはプリキュア」シリーズや「ドラゴンボール」シリーズを中心に、国内外で各事業が好調に推移した結果、初めて売上高200億円を突破し、会社設立以来最高の215億61百万円を記録しました。

#### 売上高の推移 (単位:百万円)

第66期	17,120
第67期	16,646
第68期	21,561

### Point 当期純利益

国内外での各事業の好調を受けて、当期純利益も前年対比56.3%増加し、売上高とともに、当期純利益も、会社設立以来最高の24億28百万円を記録しました。

#### 当期純利益の推移 (単位:百万円)

第66期	2,336
第67期	1,553
第68期	2,428



第68期 事業報告書



第68期 事業報告書

## 連結財務諸表

## 単体財務諸表

### Point 営業活動によるキャッシュ・フロー

当期における営業活動によるキャッシュ・フローは、36億円の増加(前期は6億28百万円の増加)となりました。これは、主に税金等調整前当期純利益が40億15百万円(同25億46百万円)となったことによるものです。

### Point 投資活動によるキャッシュ・フロー

当期における投資活動による資金の減少は37億20百万円(前期は3億50百万円)となりました。これは主に、投資有価証券の取得、長期性預金への投資、土地・建物の購入等によるものです。

### キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科 目	当 期 平成17年4月1日～ 平成18年3月31日	前 期 平成16年4月1日～ 平成17年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,600	628
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,720	△ 350
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 209	△ 210
現金及び現金同等物に係る換算差額	133	△ 25
現金及び現金同等物の増減額	△ 195	41
現金及び現金同等物の期首残高	12,461	12,420
現金及び現金同等物の期末残高	12,266	12,461

### 剩余金計算書(要約)

(単位:百万円)

科 目	当 期 平成17年4月1日～ 平成18年3月31日	前 期 平成16年4月1日～ 平成17年3月31日
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	3,409	3,409
資本剰余金期末残高	3,409	3,409
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	15,400	14,105
利益剰余金増加高	2,428	1,553
利益剰余金減少高	258	258
利益剰余金期末残高	17,569	15,400

### 貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科 目	当 期 平成18年3月31日現在	前 期 平成17年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	15,655	16,334
固定資産	14,131	9,149
資産合計	29,786	25,484
<b>負債の部</b>		
流動負債	5,027	3,694
固定負債	1,516	1,071
負債合計	6,544	4,766
<b>資本の部</b>		
資本金	2,867	2,867
資本剰余金	3,409	3,409
利益剰余金	15,064	13,282
その他有価証券評価差額金	1,901	1,157
自己株式	△ 0	△ 0
資本合計	23,242	20,717
負債・資本合計	29,786	25,484

### 利益処分

(単位:円)

科 目	当 期	前 期
当期末処分利益	11,770,186,046	10,288,358,468
利益配当金	559,995,840	209,998,440
役員賞与金	40,000,000	40,000,000
(うち監査役賞与金)	(2,600,000)	(2,600,000)
別途積立金	300,000,000	300,000,000
合計	899,995,840	549,998,440
次期繰越利益	10,870,190,206	9,738,360,028

(注)配当金は、自己株式52株分を除いて計算しております。

### 損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科 目	当 期 平成17年4月1日～ 平成18年3月31日	前 期 平成16年4月1日～ 平成17年3月31日
売上高	20,487	16,010
売上原価	14,528	11,776
売上総利益	5,958	4,233
販売費及び一般管理費	2,547	2,218
営業利益	3,411	2,015
営業外収益	134	91
営業外費用	3	1
経常利益	3,542	2,105
特別損失	141	54
税引前当期純利益	3,401	2,050
法人税、住民税及び事業税	1,369	837
当期純利益	2,031	1,213
前期繰越利益	9,738	9,074
当期末処分利益	11,770	10,288

### Point 1株当たり利益配当金

創立50周年記念と、連結売上高、連結当期純利益が過去最高を記録したことを受け、株主の皆様のこれまでのご支援にお応えするため、1株につき50円増配し、80円を配当いたします。

#### 1株当たり利益配当金の推移

(単位:円)

第66期	30
第67期	30
第68期	80



第68期 事業報告書



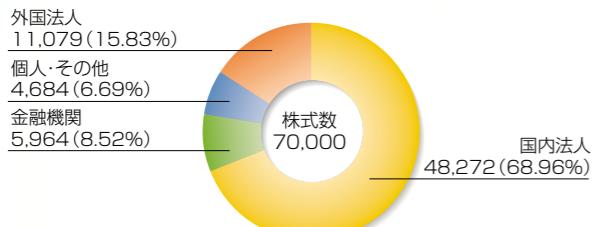
第68期 事業報告書

## 株式の状況／会社概要

### 株式の状況 (平成18年3月31日現在)

発行済株式総数	7,000,000株
株主数	1,770名

### 所有者別株式分布状況(単位:百株) (平成18年3月31日現在)



### 株価・出来高の推移



### 著作権表示

©2005映画ふたりはプリキュアM2 製作委員会・ABC・怪~ayakashi~製作委員会・尾田栄一郎・集英社・フジテレビ・バードスタジオ・BANDAI 2003・ダイナミック企画・水木杏子・いがらしゆみこ・武内直子・PNP・テレビ朝日・本郷あきよし・2006 Cartoon Network, Aniplex & TV Tokyo・大暮翠人・講談社・マーベラスエンターテイメント・エイベックス・エンタテインメント・桑島由一・メディアファクター・神様家族プロジェクト・車田正美・かずといすみ・小学館・貧乏姉妹物語プロジェクト・VisualArt's・Key・フロンティアワークス・アニメックス・デジモンOGプロジェクト・東映アニメーション

### 会社概要 (平成18年3月31日現在)

商号 東映アニメーション株式会社  
英文社名 TOEI ANIMATION CO., LTD.  
本社 〒178-8567 東京都練馬区東大泉二丁目10番5号  
TEL 03-3978-3111(代表)  
新宿オフィス 〒162-0831 東京都新宿区横寺町58番地  
東映アニメーション研究所 〒178-0063 東京都練馬区東大泉二丁目11番32号  
従業員数 271名  
上場市場 JASDAQ(コード:4816)  
ホームページ <http://www.toei-anim.co.jp>

### 株式事務のご案内

商号 東映アニメーション株式会社  
証券コード 4816  
決算期 毎年3月31日  
定時株主総会 每年6月に開催いたします。  
基準日 每年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。  
利益配当金 每年3月31日現在の株主または登録株式質権者にお支払いいたします。  
株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社 本店  
同事務取扱所 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
電話0120-78-2031(フリーダイヤル)  
同取次所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店  
公告方法 電子公告 <http://www.toei-anim.co.jp>

### お知らせ

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な名用紙のご請求は、下記株主名簿管理人中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

- フリーダイヤル 0120-87-2031 (24時間受付:自動音声案内)
- ホームページ [http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

## 株主優待オリジナル「キャラクターQUOカード」を進呈

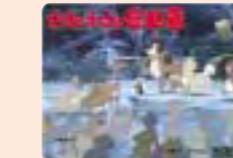
●絵柄は、子ども達に人気の新作アニメーション2種類、なつかしの名作アニメーション2種類(各500円)を1セットで進呈いたします。

●新作アニメーションにつきましては、株主優待限定の描き下ろしのデザインとなっています。

### 2006年進呈



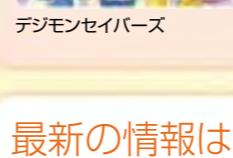
ふたりはプリキュア  
Splash☆Star



わんわん忠臣蔵



ガリバーの  
宇宙旅行



デジモンセイバーズ

### 2005年進呈



ワンピース



わんぱく王子の  
大蛇退治



アラビアンナイト  
シンダバッドの冒險

### 2004年進呈



ふたりは  
プリキュア  
MaxHeart



少年猿飛佐助

## 最新の情報は当社IRページで

当社では適時情報開示を目的としてIRページを開設しております。決算説明会の映像や詳細な定量データ等、日々情報の充実に努めております。また、IR情報およびプレスリリースのメール配信の登録／削除を受け付けております。

<http://www.toei-anim.co.jp/corporate/ir/>



第68期 事業報告書



第68期 事業報告書

## 東映アニメーション NOW ON AIR



「ガイキング」  
日) 6:30~ テレビ朝日



「ふたりはプリキュアSplash☆Star」  
日) 8:30~ ABC・テレビ朝日系列



「デジモンセイバーズ」  
日) 9:00~ フジテレビ系列



「ワンピース」  
日) 19:00~ フジテレビ系列



「エア・ギア」  
火) 25:00~ テレビ東京系列



「神様家族」  
木) 22:30~ アニマックス



「貧乏姉妹物語」  
木) 26:40~  
テレビ朝日(6/29~)



「出ましたっ!パワーパフガールズZ」  
土) 7:00~  
テレビ東京系列(7/1~)

